

心臓超音波検査を受けられる方へ

心臓超音波検査とは、プローブ（探触子）を胸に当てて行う検査です。

プローブの先端から超音波が出て、この超音波を用いて

心臓の形や動き、弁の状態、

心臓の中の血液の流れ 等を調べる検査です。

超音波の通りを良くするために体にゼリーを付けたり、横になって動かないでいただいたりしますが、特に痛みや苦しみはない検査ですので、安心して受けて下さい。



また、超音波は、人体に悪い影響は与えませんので、これも心配しないで下さい。

姿勢の保持が困難な場合は、申し出て下さい。

その他御不明な点がございましたら検査科担当者にお尋ね下さい。

独立行政法人国立病院機構 茨城東病院 臨床検査科 生理検査室

029-282-1151 (内3345)